



MEN'S Precious
 ×
 VULCANIZE London
 ブリティッシュダンディズムトークショー結果報告

お洒落と ダンディズムについて 歴史のエピソードから 解き明かす



ダンディな男たちの
 生き様にも言及

去る5月26日、『MEN'S Precious』にとって初めての読者イベントとなる、「MEN'S Precious × VULCANIZE London プリティッシュダンディズムトークショー」が、「ヴァルカナイズ・ロンドン青山店」で開催されました。

服飾史家でダンディズム研究の第一人者、明治大学特任教授の中野香織さんと、本誌人気連載「お洒落極道」でおなじみの作家、島地勝彦さんの対談は、ネルソン提督から、

ジョージ5世、ウィンストン・チャーチル、ウィンザー公、チャールズ皇太子まで英国史上のダンディな男たちの着こなしと生き方について白熱した内容に。

元祖ダンディともいわれる、ボビー・ブランメルについてのトークでは、島地さんが今の巻き物のお洒落の元になるブランメルの「ネッククロス」へのこだわりについてのエピソードを披露。それに対して中野さんが「男にとって首元は不用意に見せないもの。命に関わる場所だからです」と服飾史上の考察を加えるなど、おふたりの会話は文化的意味合い

中野香織さんは、「ヴァルカナイズ・ロンドン」でも扱う英国ブランド「イエーガー」のワンピース、島地さんは「イタリア抜け感ファッション」で登場。英国王室御用達のワイン商「ペリー・ブラザーズ&ラッド」のロンドンドライジングがふるまわれました。また、同じく英国王室御用達の「ベンハリガン」の新作「ジュニアスリング」のお試しコーナーも。ロンドンオリンピックを前に、英国三昧の午後となりました。



にまで波及し、知的好奇心を満たしてくれる興味深いものとなりました。さらに、ダンディズム談義はリーダー論にまで発展。英国のリーダーと現在の日本のリーダーとの比較で、島地さんから辛口のコメントも連発。ファッションだけでなく、「こだわり男の生き方」を追求する、『MEN'S Precious』にふさわしいトークイベントとなりました。



撮影/篠原宏明 レイアウト ティオ